科目ナンバリング	U-LAS00 10004 LJ34						
授業科目名 <英訳>	倫理学II Ethics II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　佐藤　義之		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

「どうして私は道徳を守らねばならないのか。もしかすると道徳など、守らねばならないと信じ込まれているだけで、本当は守らなくてよいのではないか」

この種の素朴だが根源的な問いから出発して、道徳というものを根本から問い直してみたい（佐藤担当前期「倫理学Ｉ」と内容上一連の授業）。

[到達目標]

常識的な倫理観を否定する倫理学上のいくつかの立場の批判的検討を通じ、倫理の正当性を問い、倫理についての理解を深める。

[授業計画と内容]

（１）授業の方法、成績算定法等に関するガイダンス（第１回）
（２）問題提起と前期まとめ：「どうして道徳を守らなければならないのか」（第２回）
（３）ホッブズ
　彼への疑問点の検討…利己的人間にとって「道徳」は可能か（第３～４回）
（４）ベンサム：快楽の総和を増大させる行為が正
　功利主義――義務論的倫理学との対比において（第５～６回）
　利己的人間観の検討（第７回）
（５）相対主義的倫理観：川の向こうとこちらで正義は異なる（第８回）
（６）ヘアの選好功利主義：相対主義への対応策？
　選好功利主義（第９～10回）
　倫理の相対性と選好功利主義（第11回目）
　批判的検討…「選好」の検討。どうして道徳を守らなければならないか（第12回）
（７）討議倫理：道徳という逃れがたきもの
　討議倫理（第13回）
　どうして道徳を守らなければならないか。…ひとつの結論（第14回）
フィードバック：詳細は別途連絡する（第15回）。

[履修要件]

前期「倫理学Ｉ」（佐藤担当）と一連の講義であるが、「倫理学Ｉ」履修済みの者でなくとも理解できるように授業は進める。

[成績評価の方法・観点]

授業時に随時数回、事前の予告なく実施する小テストによる。

[教科書]

使用しない

倫理学II(2)へ続く↓↓↓

倫理学II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

ノート参照可の小テストを授業時に随時実施するので、それに備えて授業ノートを整理し、復習しておくことが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

受講希望者多数の場合、受講者を制限することがある。その際は、今年度前期「倫理学Ｉ」（佐藤担当に限る）の単位修得者のうち抽選に参加する者について優先的に登録を認め、後期からの受講希望者に関しては、残りの人数枠で抽選とする予定である。抽選に関しては別途指示があるので注意すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]